

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	社会福祉基金造成事業			事業コード	0348
担当課等	所属名	保健福祉部 地域福祉課		担当係名	
	課長名	保健福祉部 地域福祉課 沼田由子	担当者名	保健福祉部 地域福祉課 工藤 貢	電話番号 3556

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	ふれあいが広がる地域福祉の実現	コード 7									
	基本事業	地域福祉の充実	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 3款 1項 1目 社会福祉基金造成事業 (001-04)										
	特記事項														
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 43年度～)											
事務事業の概要	市民からの寄付金等を、社会福祉の振興に役立てるため、盛岡市社会福祉基金に積み立てている。														
根拠法令等	盛岡市社会福祉基金条例(昭和43年6月27日条例第31号)														
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)															
社会福祉の増進を図る目的で、昭和43年に社会福祉基金を設置し、市民の善意による篤志寄付金を積み立てている。															
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか															
寄付者から、氏名や寄付金額を広報に掲載してほしいとの要望が寄せられている。															
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか															
経済の低迷による積立金の減少。															

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 人口	単位	人
				B. 社会福祉基金		件
				C.		単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 市民からの寄附を社会福祉基金に積み立てた。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 22年度と同じ。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 寄附額(積立額)	単位	円
				B. 寄附件数		件
				C.		単位
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	市民の善意による社会福祉のための寄附を、その意向にそって基金を適切に管理する	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 基金の現在高 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	千円
				B. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		単位
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】		単位
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	地域福祉活動の促進が図られている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「ボランティア活動をしたことがある」と答えた市民の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	人口	人	297592	297,267	297,267	297,267	298,148	298,148	26年度 298,148
対象 指標B	社会福祉基金	件	1	1	1	1	1	1	26年度 1
対象 指標C									年度
活動 指標A	寄附額(積立額)	円	2298046	1,046,388	2,300,000	446,450	2,300,000	2,300,000	26年度 2,300,000
活動 指標B	寄附件数	件	18	10	10	5	10	10	26年度 10
活動 指標C									年度
成果 指標A	基金の現在高	千円	189231	146,581	146,581	91,739	94,039	96,339	26年度 100,939
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	2,298	1,047	2,300	446	2,300	2,300	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	2,298	1,047	2,300	446	2,300	2,300	*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	2,298	1,047	2,300	446	2,300	2,300	*****
	延べ業務時間数	時間	20	20	20	20	20	20	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	80	80	80	80	80	80	*****
	トータルコスト (A)+(B)	千円	2,378	1,127	2,380	526	2,380	2,380	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:社会福祉基金は、広く社会福祉のために活用されるものであり、地域福祉の増進につながる。		
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		理由:社会福祉に貢献したいという市民の善意の受け皿になっており、基金の管理・運用は市が行うべきものである。
有効性評価	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		理由:全市民が対象となっており、市民以外も受け入れ可能なことから、現状が妥当である。
効率性評価	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他		理由:寄付者の意向を尊重する必要があることから、現状が妥当である。
	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:市民の善意の受け皿がなくなり、また、社会福祉基金を財源とする事業の継続にも影響する。		
効率性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: _____
	※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？	<input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:事業費は積立金のみである。		
公平性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:他業務と調整しながらの事務処理であり、人件費への影響は生じていない。		
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input type="radio"/> 公平・公正である <input checked="" type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		

改革 ／ 改善 方 向	4. 事務事業の改革案(Plan)
	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること</p> <p>市民の浄財、善意を社会福祉の充実に役立てる受け皿として、事業を継続する必要があるが、活用使途も含めて、広く市民に基金を周知することにより、事業の拡充が図られる。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？それをどう克服していきますか？ （関連部門や全局的な調整の必要性、トップへの要望も含む）</p> <p>寄附採納を行った者のうち希望者の広報掲載を継続して行い、市民の善意を広く周知し事業の推進を図る。</p>

一 次 評 価	5. 課長意見												
	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table> <tr> <td>① 必要性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="radio"/> 妥当</td> <td><input type="radio"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table> <p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>寄附金が減少傾向となっており、基金残高も減少してきている。今後も広報紙掲載や報道等を通じ、一層の事業周知に努める必要がある。</p>	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり
① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	<input type="radio"/> 見直し余地あり											
今 後の 方 向 性 と 改 革 改 善 案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td>→</td> <td><input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> <td>→</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</td> </tr> </table> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>寄附採納が減少傾向にあることから、事業を継続しながら基金活用事業を含め、広報紙や報道等を通じ一層の事業周知に努める。</p>	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	→	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う				<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)										
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	→	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う										
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携										